

2024年度「SDGs達成に向けたESD」を進める

eラーニング教材（実践編）開発事業のご案内

教育実践及び制作協力者を大募集

北陸の地においても、学校はコロナ禍を乗り越え、SDGs達成に向けESDが進められてきました。このSDGs達成に向けたESDの教育実践をeラーニング教材化することで、その価値を共有し教員や教員を目指す学生たちが互いに学び合うコミュニティづくりを進め、SDGs達成に向けたESDの教育実践を通して、R6能登半島地震からの復旧・復興やレジリエンス強化につながる専門性の開発にもつなげたいと考えています。ユネスコスクールに限らず、小、中、高校の先生方や学校などの応募をお待ちしています。

**主催団体** 北陸ESD推進コンソーシアム(主幹団体:金沢大学)

**募集対象** SDGs・ESDを実践しeラーニング教材の制作を希望する教員または学校等

**募集期間** 令和6年7月1日から9月30日ごろ

**募集内容**

地域が持続可能な社会として成長する課題について学習するなど、SDGs達成に向けたESDの教育実践を、総合的な学習や教科等で行った教育実践、国内外の教育交流、学校と企業等をSDGsでつなぐ活動、社会教育施設と連携した実践などを、eラーニング教材(実践編)として動画(12分前後)を制作し紹介していただける教員や学校を募集しています。今年度は、特に北陸で充実している「地域学習」や「ふるさと学習」「里山・里海学習」など、総合的な学習や教科の授業において、次の4点に留意した実践の応募を期待しています。

- ①「世界とのつながり」を理解したり「地球規模」で考えたりすることを重視した実践
- ②児童生徒が本音で討論し探求する実践、児童生徒の変容(自己変革)を促す実践
- ③気候変動、生物多様性、非暴力、平和の構築など緊急性の高い課題についての授業実践
- ④R6能登半島地震からの復旧・復興やレジリエンス強化に関する授業実践

**応募方法** 下記の事務局Mailアドレスまで、eラーニング教材制作希望の旨と、氏名、所属名、学年、を御一報下さい。締め切りは、9月いっぱいを予定しています。

**参照ください!** これまでの5年間で制作したeラーニング教材については、HPやYouTubeで「北陸ESD」と検索し、コンソーシアムのチャンネルからも視聴できます。是非ご覧ください。

※【8月23日(金) 17:00~18:30 オンライン開催 今年も「ESD・SDGs学習実践者交流会」(「SDGs達成に向けたESDeラーニング教材制作協力者交流会」の発展)を開催します。ふるって御参加ください!】

昨年度に続いて4回目の開催です。これまでにeラーニング教材を制作した方々、今年度制作する予定の方々を中心にささやかなコミュニティを作っています。その方々を中心に「SDGs達成に向けたESD」も関する情報交換をしています。今年は、特にR6能登半島地震の復旧・復興や教育のレジリエンスに関する情報交流を行う予定です。皆さんの参加をお待ちしております。

【eラーニング教材(実践編)の制作に協力いただける方や制作協力者交流会に参加される方は、下記の北陸ESD推進コンソーシアムのアドレスまで、氏名、所属校名、メールアドレスと共に、参加したい旨を記入してください。



お問い合わせ

(連絡先)

住所 〒920-1192 石川県金沢市角間町  
金沢大学人間社会3号館1313研究室

E-mail: hokuriku.esd@gmail.com

TEL: (076)264-5605

HP・URL: <https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp>